

JELA NEWS

ジェラ ニュース 第43号 2017年 8月15日発行 発行責任者 森川 博己

一般社団法人日本福音ルーテル社団 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-26 Tel.03-3447-1521 Fax.03-3447-1523 jela@jela.or.jp www.jela.or.jp

難民支援/世界の子どもの支援/ボランティア派遣/リラ・プレカリア(祈りのたて琴)研修講座/奨学金制度/宣教師支援

私たちは、キリストの愛をもって、日本と世界の助けを必要とする人びとに仕えます

お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渇いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。はっきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。 マタイによる福音書25章35～36、40節



ブラジルの音楽ミニストリーが躍進!

JELA が楽器の購入や教室の整備などの費用を支援している、ブラジルの教会の音楽ミニストリーに変化が。参加する子どもたちの数が大きく増え、活動にも広がりが見られます。詳細は 2、3 ページをご覧ください。

【この号にはこんな記事が】

音楽教室の充実と活動の広がり(徳弘浩隆)、カンボジア・ワークキャンプ 2018 募集要項…… 2～3 読者からのメッセージ…… 4～5 日本で学んだ大いなるエキュメニズム(マクドナルド・F・バンダ)…… 5 住む場所があるということ— JELA ハウスがもたらす安心感(石川えり)…… 6 移動という視点で見た難民(山本哲史)…… 7 支援者一覧、川柳ひろば第9回入選作品発表、リラ・プレカリア研修講座第7期生募集開始、クレジットカード寄付について …… 8



ブラジル子ども支援

数年前から楽器の購入などを JELA が支援している、ブラジルにあるジアデマ教会の音楽教室の様子をお伝えします。教室責任者のメロ牧師が今春から日本で長期研修中のため、JELC ブラジル派遣宣教師の徳弘浩隆・由美子夫妻が2月から教室運営にあたられています。

最初は生徒が1人だけだった午前クラスですが、4月には3人、6月には11人になったそうです。午後のクラスをあわせると、当初の5名前後から35名まで膨れ上がりました。この変化の背景と将来計画などについて、徳弘牧師にレポートしていただきます。

音楽教室の充実と活動の広がり サンパウロ教会牧師 徳弘浩隆

はじめに

私も妻も音楽の専門家ではないので、音楽教室の運営には助けが必要だと思い、サンパウロ教会のメンバーに声をかけて、毎週5名でジアデマ教会に通っています。幸いにも、幼稚園の園長や教師の経験がある私たち夫婦のやり方が子どもたちにも保護者にも受け入れられ、生徒は友達のお母さんたちも連れてきてくれるようになりました。現在、以下のような活動を展開しています。



○パソコン教室から大縄跳びへ

午後には音楽教室と並行して小学生向けパソコン教室も始めました。友達が友達を呼ぶ好循環で生徒が増え、音楽教室は15～30分刻みで一日に何度も行うことになりました。音楽教室の生徒さんには待ち時間をパソコン教室で過ごしてもらう寸法ですが、5台あるパソコンはいつも順番待ちの状態です。教会内を待合室にすると、おしゃべりしたりふざけたりして音楽教室の生徒が集中できません。そこで、どちらの教室も待ち状態の子どもには教会の外で大縄跳びをしてもらうことにしました。みんな大喜びです。日本のようにブラジルでも大縄跳びをするときの歌があって、少しずつ縄の回し方を速め、どこまで何人で飛べるか、毎週楽しみです。私もいっしょに縄を回したり、飛んだりして、汗をかいています。

○いろいろな方たちの協力で広がる活動

教室に集まるのは貧しい地域の子どもたちが中心なので、おやつも出します。サンパウロ教会の看護師や知り合いの栄養士にも相談して、「食育健康おやつ」を始めてみました。子どもや親に、そして地域に対して栄養教育ができればと思ったのです。基本は野菜入りスープ・パン・果物・お茶です。サンパウロ教会とジアデマ教会に呼びかけると、多めに買った食材から、ニンジン1個・玉ねぎ1個というように寄付してくれるようになりました。音楽教室・パソコン

教室・大縄跳びによる活況ぶりを喜んでくれたジアデマ教会員たちが、自分たちも何か役に立ちたいと順番でスープを作ってくれます。

このように働きは広がりましたが、人手や資金は足りず、音楽教師やパソコン教師を雇う予算もありません。しかし、ジアデマ教会メンバーのスタッフも5名ほど加わってくれるようになり、サンパウロ教会からも、去年から教会に通ってくださっているブラジル駐在員のご夫婦の奥様が手伝ってくださるようになりました。



○役立つ JELA での経験とさらなる目標

生徒が増えたので、あわてて買い足したキーボードや楽器の費用、また倉庫を整備して教室を分ける改装工事などに JELA からの支援金が活用でき感謝しています。

次の目標は、未完成のままになっているジアデマ教会の2階を建て増しすることです。みんなで祈り、バザーを毎週実施していますが、他に寄付などを募り、資金を集めようと思っています。内装はレンガにコンクリを塗ただけで節約するつもりで、日を決めてワークキャンプをやり、みんなでペンキ塗りなどをしようと発案したところ、教会員や保護者そして子どもたちまで、やる気満々。JELA で昔参加したりかかわったりした、アメリカやカンボジアのワークキャンプを思い出しながら祈りを積み重ねています。



○頭も心も体もたましいも

情操教育の観点から始めた音楽教室ですが、音楽だけではなく、音楽を通して子どもたちに集中力やしつけを教え、自信をもって生きていくことを学んでほしいと思っています。15歳を過ぎると放課後などに悪友たちとつるんで非行やお酒や麻薬、窃盗や望まない妊娠などが地域に蔓延しています。「子どもたちを救ってあげられるのは、まだ素直な今のうちですよ」という日本人ボランティアの一言が心に響きました。

学童保育のような形で活動をさまざまに広げ、この働きを今後も続けていきたいと語り合っています。音楽教室は今、頭も心も体もたましいも、総合的に子どもたちや地域の人々に奉仕するセンターになりつつあります。神様のご計画はいかがでしょうか。夜の礼拝には、近所の方も出席して、聖書を読み、語り合い、子どもたちや教室の課題もあげていっしょに祈っています。どうぞ皆様も、お祈りとご支援をよろしく願いいたします。いつもありがとうございます。



第6回カンボジア・ワークキャンプ参加者募集!



2018年2月中旬から約10日間、6回目となるカンボジア・ワークキャンプを開催する予定です。JELAと現地のNGOが協力して、助けを必要としている子どもたちと家族のために奉仕をするとともに、カンボジアの歴史と文化が学べるキャンプです。アンコール・ワットやキリングフィールドなどの主要な史跡も訪ねます。

キャンプの内容と募集要項については2017年9月上旬にJELAホームページで公開します。ご興味のある方はJELAにお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしております!

期間：2018年2月中旬～(約10日間の予定)

場所：プノンペン、シェムリアップ

内容：ボランティア活動 アンコール・ワット、キリング・フィールドでの学び

対象：18歳以上の健康に自信のある方(高校生不可)

定員：10名前後

参加費：18万円

※複数で一緒に申し込んだ場合、1人につき5千円割引きます。

なお、パスポート取得費用、ビザ代金、海外旅行保険費用、派遣確定者向け説明会と出発・帰国時の集合場所から居住地までの交通費や、前泊・後泊する場合の宿泊費については、上記の参加費とは別に個人負担となります。

問い合わせ・申込用紙請求先：JELA カンボジア・ワークキャンプ係
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-20-26 日本福音ルーテル社団
TEL：03-3447-1521 FAX：03-3447-1523 E-mail: jela@jela.or.jp



ジェラニュースの読者の中には、郵便払込票で寄付を送ってくださる際、通信欄にメッセージを記してくださる方が時々いらっしゃいます。これを読むと、どのような思いでご支援くださっているのか、どんな記事に興味を持っていたかだけたのがよくわかります。

その年に支援金をいただいた皆様には、JELA ホールのステンドグラスをあしらったクリスマスカードを毎年お送りしているのですが、上記の通信欄でそのことに触れてくださることもありがたいです。

JELA と読者の皆様の交流の輪が広がるようにとの思いを込めて、このメッセージを匿名で、お住まいの地域名だけを示して掲載することにしました。初回の今回は、2016年1月から最近までの分を拾ったところ、以下のようなメッセージが見つかりました。ありがとうございます。日々、このようなメッセージに励まされて仕事ができる幸いを神様に感謝いたします。これからも、ご意見やご感想をお寄せいただけるとありがたく存じます。よろしく願いたします。

(JELA 事務局長・森川博己)

- ♥今年も皆様の御奉仕が祝福されますように。(愛知県高浜市)
- ♥ますます JELA が社会に伝道していきますように。(東京都中野区)
- ♥今年もよろしく願いたします。(沖縄県豊見城市)
- ♥祈りつつ、感謝をこめて。(東京都目黒区)
- ♥聖名を賛美します。今年のお正月は息子一家と一緒にアメリカで過ごしました。娘も元気しております。今年もよろしく願いたします。(熊本県玉名市)
- ♥教会でのセミナー Part II は、38名参加で盛会となりました。今回献金が少しですが、リラ・プレカリアの活動にお使い下さい。(静岡県浜松市)
- ♥ささやかですが貴法人のお働きの為にお捧げ致します。(東京都目黒区)
- ♥イースターおめでとうございます。雪の少なかった北海道、すっかり春です。(北海道札幌市)
- ♥JELA のさらなる発展をお祈りしております。(東京都中野区)

- ♥吉永小百合さんの記事、楽しく読ませて頂きました。(北海道札幌市)
- ♥申し訳ありませんが、次回より払込をしばらく休みたいと思います。また、出来る時を祈りつつ……(東京都大田区)
- ♥よいお仕事のために祈ります。(東京都渋谷区)
- ♥JELA 奨学金受給者のラブリー・リリーさんのパン代として。(宮崎県宮崎市)
- ♥身体の調子がわるいので JELA の催しに伺えず残念です。(東京都小平市)
- ♥ハレルヤ!(福岡県北九州市)
- ♥暑い夏になりそうです。ご自愛下さい。(北海道札幌市)
- ♥皆様の貴いお働きの神様に守られ、益々祝されます様にお祈り致します。(千葉県千葉市)
- ♥JELA のお働きの上に豊かなみ恵みがありますように。(静岡県静岡市)
- ♥聖名を賛美します。今、娘がアメリカから帰っています。震災のボランティアに行くと張り切っています。(熊本県玉名市)
- ♥人間尊重の為の様々のお働きに感謝しています。(山梨県南アルプス市)
- ♥この度はワークキャンプで孫が大変お世話になりました。(東京都杉並区)
- ♥JELA NEWS ありがとうございます。できれば英語のものを購読したいということで、今回限りで今後はお送りいただかなくてけっこうです。宜しく願いたします。(長野県松本市)
- ♥色々学ばせて頂きましたが、伺えなくなりました。御礼まで。(東京都小金井市)
- ♥JELA NEWS ありがとうございます。インドのワークキャンプのために祈ります。(東京都江戸川区)
- ♥ジェラニュース連載の「第三回ドイツの実践から(1)」からも具体的なことが解りました。(東京都新宿区)
- ♥みな様の働きの神様に祝されますように。ほんの少しのお手伝いですが、主の御用のために用いて下さい。(埼玉県飯能市)
- ♥暑中お見舞い申し上げます。JELA 川柳ひろばを愛読しています。一句投稿。「八月や平和ばかりが飛んでいる」。(兵庫県神戸市)
- ♥主の御名を賛美致します。暑さの去らない日が続いています。御自愛下さい。(愛知県高浜市)
- ♥日本福音ルーテル社団のお働きのいつも感謝しています。(東京都武蔵野市)
- ♥今迄ラブリー・リリーさんと献金しましたが、法人に一任することにしました。(宮崎県宮崎市)
- ♥先日は突然立ち寄り申し訳ありません。

- JELA ホールのステンドグラスを拝見でき、うれしかったです。(北海道札幌市)
- ♥少ない額ですがお役立て下さい。(住所無記入)
- ♥寒い冬になりそうです。ご自愛下さい。(北海道札幌市)
- ♥難民支援にお役立ていただきたく、よろしく願いたします。(兵庫県神戸市)
- ♥JELA NEWS 第41号の「キッズケアパークふくしま」栗原清一郎氏。旧い教会時代の教友。ただただ懐しい。(千葉県千葉市)
- ♥クリスマスおめでとうございます。皆様のお働きの上に神様のお恵みをお祈りしています。(熊本県玉名市)
- ♥美しいクリスマスカードをありがとうございました。JELA に主の祝福を。在。主。(神奈川県藤沢市)
- ♥札幌は大雪の中、ホワイトクリスマスでした。良いお年を。(北海道札幌市)
- ♥きれいなカードありがとうございました。郵便払込取扱票はいつも持ち歩いているのですが、気にしつつおそくなりました。(静岡県静岡市)
- ♥聖名讃美。ご無沙汰しています。娘もおめでたになり喜んでます。良きクリスマスをお迎え下さい。(熊本県玉名市)
- ♥お働きの感謝申し上げます。(東京都西東京市)
- ♥クリスマスカード、ありがとうございます。(東京都中野区)
- ♥職員のM様はお元気で活躍のことと存じます。いろいろお世話になりましたこと、思い出し、感謝しております。(千葉県市川市)
- ♥主のお導きの下、みな様の働きの神様に祝されますように!!(埼玉県飯能市)
- ♥JELA の事業報告会&パーティ楽しかったです。(千葉県市川市)
- ♥クリスマスおめでとうございます。すてきなクリスマスカードありがとうございます。(愛知県安城市)
- ♥お働きの上に主の御祝福をお祈りいたしております。(東京都世田谷区)
- ♥「キッズケアパークふくしま」の栗原清一郎さん、元気に頑張ってください。応援しています。(宮城県仙台市)
- ♥お働きの心から感謝しつつ。よいクリスマスを!(東京都目黒区)
- ♥先日は JELA ホールでのパーティにご招待いただきましてありがとうございました。今後ともどうかよろしく願いたします。(東京都江東区)
- ♥ボランティアをされている方ごくろうさまで。そして難民の皆様、神様はいつも見守っていてくださいますよ。(佐賀県唐津市)

- ♥クリスマスの祝福をお祈りします。(京都府城陽市)
- ♥遅くなりすみません。良いお年となりますようお祈りしています。(東京都府中市)
- ♥一度聞いたリラ・プレカリアのハーブの音色が忘れられません。(愛知県春日井市)
- ♥お働きの上に神様の御守りと御導きをお祈り致します。(東京都立川市)
- ♥わずかな額ですが、お役立て下さい。(住所無記入)
- ♥皆様の働きの神様に、祝福されますように。(愛知県高浜市)
- ♥J3 宣教師の日本語学習のために。(東京都文京区)
- ♥お働きの神様に祝されますようお祈りしています。(東京都府中市)
- ♥元気です!(東京都三鷹市)
- ♥ルーテル社団のお働きの上に神様の恵みをお祈りします。(東京都西東京市)
- ♥スタッフの皆様の愛に溢れた活動は、素晴らしい。今後の時代に必要な生き方の一遍だと深く感じ入っております。(東京都世田谷区)
- ♥ジェラニュース、楽しく読ませていただきました。(東京都小金井市)
- ♥JELA の活動に御恵みが頂けますように。(熊本県熊本市)
- ♥『JELA NEWS 41号』の「キッズケア福島」栗原清一郎氏応援のために。(千葉県千葉市)
- ♥『JELA NEWS』をよんでいると、今でも難民が居る事が分かりました。私には何でも出来ません。体に気をつけてがんばってください。(佐賀県唐津市)
- ♥祝 主の復活にハレルヤ (東京都江戸川区)
- ♥都合により、以後の献金が不可能になりました。おわび申し上げます。(東京都大田区)
- ♥イースター・世界平和のために。2016年8月13日に受洗。(山口県宇部市)
- ♥今井兄を偲んでいます。(神奈川県横浜市)
- ♥いつも通信をありがとうございます。貴社団のお働きの感謝して、ささやかですが、お捧げ致します。(東京都目黒区)
- ♥6月17日のコンサートを楽しみにしています。(静岡県静岡市)
- ♥「川柳ひろば」の大変さを読み、心痛めて(?) おりますが……協力できるようがんばります!(北海道札幌市)
- ♥難民、里親支援の為に(神奈川県横浜市)
- ♥チャリティコンサートありがとうございます。(山梨県南アルプス市)

以上、2016年1月～2017年5月分



国際交流奨学金

JELA は 2003 年からほぼ毎年、発展途上国から来日して栃木県のアジア学院で農業研修を受ける 1 名ないしは 2 名の方の年間研修費を支援しています。2016 年 4 月から今年の 3 月までの支援対象は、アフリカのマラウイ共和国からやってきた聖公会司祭のマクドナルド・F・バンダさんでした。

マクドナルドさんは 2011 年にも来日して同学院の一般研修を受けましたが、学びを深めるため、今回は研究生として再来日されました。卒業論文では以下のように、JELA や日本のルーテル教会の支援について感謝を述べてくださいました(和訳=JELA 事務局)。

日本で学んだ大いなるエキュメニズム マクドナルド・F・バンダ

私はキリスト教の教会一致促進運動であるエキュメニズムを大切に考え、その進展を強く望んでいます。アジア学院での研修を通して、私の想像を超えたエキュメニズムを体験することができました。それは日本福音ルーテル社団の愛とご支援によって示されました。日本のルーテル教会の奉仕活動の一翼をになう日本福音ルーテル社団が、異なる教派である聖公会の司祭である私を支えてくださるにあたり、たくさんのお金が必要だったことでしょう。アフリカで私自身が奉仕する教会を含めマラウイのどの教会にも、このような大きな働きはできないと思います。

支援は金銭的なことにとどまりません。いくつかのルーテル教会に招いてくださり、礼拝で説教をしたり、自分の働きについて話したりする機会もいただきました。他教派の聖職者に自分の教会の説教を依頼することは、キリスト教界では大変珍しいことではないでしょうか。

多くの教会は、別の教派の人に説教をさせれば、自分たちの教義と相いれないことを話すだろう、と恐れます。ところが、日本のルーテル教会の皆さんは非常に寛容で、私に自由に説教をする機会を与えてくださいました。聖餐式のお手伝いをさせてくださる教会までありました。まさにキリストにある兄弟として私を遇してくださいました。

教会へ赴くにあたり、最も快適な交通手段である新幹線を用意してくださいました。高かったです。アジア学院の学費だけでも高いのに、それに加えて高額の交通費まで負担してくださいました。しかも、どの教会でもとても温かく迎えてくださいました。想像だにできなかったこのような歓迎に、心より感謝しています。

このたびの日本のルーテル教会との関わりを通して、私は次元の異なるエキュメニズムを学びました。今度は私の番です。同じことを、私も他の人々のために実践しなければなりません。文化や宗教の違いを超えて、あらゆる人々のために、あらゆる人々のために、精一杯働きたいと思っています。そしてそれこそが、JELA の皆さんに対する私の唯一の感謝の表し方です。ありがとうございました。





難民支援

JELA は都内に2か所、難民申請者のための避難施設(ジェラハウス)を所有し、認定NPO法人難民支援協会(JAR)の協力を得て運営しています。

難民保護の問題はここ数年、世界の重要課題としてとりあげられるようになり、3月のJELA社員総会でも、JAR代表理事の石川えりさんをゲストにお招きし、「日本に来ている難民の人たちの現状と支援」という題で講演をしていただきました。今回はその内容から、ジェラハウスに関する部分を寄稿していただきました。日本の難民支援活動を理解する一助となれば幸いです。

住む場所があるということ — JELA ハウスがもたらす安心感 —

認定NPO法人 難民支援協会
代表理事 石川えり

○日々接する難民申請者の実態

ある朝、難民支援協会の事務所に到着すると、入り口前にふたりの人が座っています。事務所が開くのを今か今かと待っているのです。ひとりはお歯ブラシと温かいご飯を、もうひとりも温かいご飯をリクエストします。食べた後は、「静かなところで横になって寝たい」と。寝そべる場所はなく、使われていない相談室の床に、応急処置的にあり合わせの毛布を敷いて横になってもらいます。日中を事務所で過ごし、三度のご飯を食べた後は夕方、相談対応が終わる午後5時、彼らはまた路上へ戻って行き、朝まで過ごします。

これが、日本で難民申請者が直面する現状です。入国直後からすべての難民申請者へ衣食住を保障するドイツとは違い、

日本ではそのような保証はありません。日本へ持ってきたお金はすぐに尽き、ホームレスとなる人がいます。しかし政府の支援は限定的で、2015年の3月末に支援を受け取っていた人は160人でした。難民申請にかかる平均の審査期間は約3年間。その間、公的な支援が非常に限定的なため、多くが文字通り「サバイバル」を求められます。

○ジェラハウスの役割と存在意義

難民申請者の最低限のセーフティネットが確保されるような制度が必要だと心から思っています。しかし、それがすぐに実現しないのであれば、目の前の人たちをホームレスにしない現実的な対応も不可欠です。その意味で、ジェラハウスは大変貴重な役割を果たしています。

ジェラハウスの特徴は、まずはすぐに入居できること。これまでも小さい子どものいる家族、ホームレスの女性、夫の暴力から逃れてきた女性などへ即日の入居を実現していただきました。本人たちの安堵感には計り知れず、今日からシェルターに入れるということに安心して、その場で泣き出してしまう人もいたほどです。彼女は日本に到着後、言葉もわからず、公園のベンチの下で寝ており、3週間ほどホームレスをしていたということでした。

就職が決まり、「他に必要ながいるだろうから」と自分のほかに家を待っている難民申請者のことを思いやり、次の一歩へ向けて退去に進むことを見守る、うれしい場面にも立ち会ってきました。ジェラハウスで得た安心感こそが、次の一歩に踏み出す力となっていると思います。

また実務面からは、「住所」

があることにより、実質的に必要な手続きを開始することができます。難民申請の審査を行う入国管理局の担当者にとっても、必要な書類の送付ができず、インタビュー日時を知らせることもできないのでは、連絡を取り合うことは困難です。その人にとっての「住居」が定まって初めて、実質的な意味で難民の審査が開始できると言えるのではないのでしょうか。

加えて、日本社会との接点ともなっています。ジェラハウスの近所に住む方から、何か困っているみたいだけど、と電話を頂いたこともありました。

○数字では計れない貴重な働き

前述の通り、日本の難民認定の審査には平均3年間の長い時間がかかります。例えば、中学校・高校であれば入学してから卒業してしまう年月です。日本以外の他国へ、難民等の立場で受け入れられていく人もいますが、これも長い月日を要します。長い年月がかかる手続き、その間の公的支援はほとんどないなかで、JELAは本人の抱えている状況を理解し、ジェラハウスへの滞在を認めるなど、温かい対応をしてくださってきました。こういう対応は、数字で見るとささやかなものになるかもしれませんが、しかし、政府による衣食住が非常に限られている現状において、一人ひとりの難民申請者のかけがえのない人生を着実に支えることができるという意味で、ジェラハウスの提供は何よりも貴重な支援になっています。

難民にとっての「住む場所」を確保するという、このジェラハウスのかけがえのない実践が、より大きな支援の輪となって広がり、日本が難民を受け入れることへつながっていくことを期待しています。



ジェラハウス2

難民支援

政治経済的視点を踏まえた難民保護 第6回 移動という視点で見た難民

モンゴル国立大学法学部内名古屋大学
日本法教育研究センター
特任講師 山本 哲史

モンゴルの草原

この連載では、人々が難民保護のための法を守るように仕向けるための工夫について考えています。その入り口として、一見関係なさそうですが遊牧民の暮らしを少しご紹介したいと思います。

■遊牧民と引っ越し

モンゴルでは人がよく移動します。全人口は300万人ほどで、その2~4割が遊牧民と言われています。面積は日本の約4倍。広い土地に少しの人。草原が広がっているのです。

私は2年前からモンゴル国立大学の法学部の学生たちに日本の法律学を教えています。学生は田舎出身の子が半分くらいで、その何人かの実家に遊牧民生活を体験させてもらったことがあります。遊牧民はゲルと呼ばれるテント様式の住居に住んでいます。ゲルは木の柱数十本とフェルト(羊の毛を固めた生地)でできているので、バラしたり組み立てたりできるわけです。宿営地から次の宿営地へと移動を繰り返します。草原は5月を過ぎれば短い夏に近づき、ハーブの香りが爽やかな季節です。羊や山羊や、馬やラクダなどを500頭、1,000頭連れてみんなで移動します。



卒業生も先生も一緒になって草原で遊ぶのがモンゴル流

そもそもなぜ遊牧民は移動するのか。実は牧草を求めて移動するのです。モンゴルは乾燥地帯で、年に限られた回数しか雨が降りません。草が育たないから、育った所に10kmから100kmも移動することがあるそうです。これを場所や気候に応じて年に数回から十数回行うのです。ある遊牧民の家で学生のお母さんに会った日、珍しくも雨が降っていました。学生は私に「先生は雨と一緒にやってきた人、幸運を連れてきた人だ」と言いました。

■外国への移動、そして避難

雨と一緒に移動できるかと言えば、それは運任せなところもありますが、国の中をそれぞれの予測に従って移動すること自体は自由ですね。

ですが国境の向こう側に行くには許可や各種の手続きが必要になります。主権国家は入国管理を行なっているからです。しかも入国管理まで行なっている国があります。これは何の話かというと、「今から国に帰ります」というときにも、「許可は得ているのだろうか?」と尋ねられるという話です。この許可、いりますでしょうか?

そう、不要です。現代では出国許可は原則として不要です。現在の国際社会でほぼ常識になっている『国際人権規約』という二つの人権条約のうち、片方の『自由権規約』によると、人は自国を含めたあらゆる国を「自由に離れることができる」とされているからなのです(12条2項)。ただしこの「自由」は完全な自由ではなく制限があります。この国際人権規約などに定められた人権にその制限が抵触せず、しかもその国の法律で定められているときに限り、国は人の出国を若干規制しても良いことになっています。ここに出国許可制度を維持しようとする国の根拠があります。

しかしこれは原則に対する例外ですから、最低限の手続きを定める程度のもとお考えください。シリアのように戦争が起きて逃げようとするときに、出国手続のための窓口が機能していないような場合、「出国許可がないからだめ」と止められたらどう思いますか? 「いい加減にしろ」と言いたくなりそうですし、法的にも、国を離れる

権利を不当に侵害されていることになる可能性が高いです。

国は行き先となる国を確認して、出国許可を与えることが一般的です。外国に着いたらまず空港などで、入管職員などによる入国許可審査を受けることになりますが、審査を受けるために事前に届け出ておいたよ、という届出証明書(ビザ)の提示が求められます。例えばビザを得ていない日本人がアメリカへ行く場合、一人二人なら「帰りなさい」で済みそうですが、大勢となると入管職員としても「日本は何をやってるんだ」と言いたくなりますね。それで、「行き先の国はどこですか? 入国審査のための手続は完了している? 迷惑はかけないよね?」という趣旨で、つまり国が別の国に配慮する意味で出国審査が行われるようになるわけです。みなさんが外国旅行から帰るとき、この意味での出国審査は本来受ける必要がないことになっています。自由権規約は自国に戻る権利を保障しているので、人は自国に帰ることを拒否されないことを人権として保障されているからです(12条4項)。ただし刑事捜査の対象かどうかを判断する意味では出国審査は正当化できるかもしれません。

■難民の出国

さて、難民の場合はどうでしょう。本国に「これから逃げますから出国許可を」って言うのでしょうか? 例えば嘘をついて、「商売をするために日本に行くので出国許可をください」と言いますね。それで到着後、「実は難民です。助けて」と言う。これって、何か悪いですか? 法的にどうでしょう? そう、悪くないです。今度は難民条約の話なのですが、「避難国に不法にいる難民」という存在が想定されていて(31条)、そういう人(不法にいる人)は追放されても文句は言えない(32条)ことにはなっていますが、もしも難民条約の定義する条件に当てはまる「難民」(条約難民と言います)の場合は、その追放の結果、原則として本国に送り届けることにだけはなっていないのです(33条)。迫害を受けた出身国に戻ることに命の危険が伴うからです。この33条がいわゆる「ノン・ルフルマンの義務」という有名な規定であり、難民保護の中核と言われます。その詳しい内容は次回に取り上げます。

第9回川柳ひろば入選句発表

下の三句が選ばれました(柏木哲夫・選)。おめでとうございます! 追って粗品をお送りします。

<最優秀句>

・俺以外みな逆走だ けしからん(泉亮)

<優秀句>

・浮かれ顔連休後には浮かぬ顔(とんちゃん)

・ゴミ出しのルール覚えてボケ防止(東もっこす)

以下のような作品もありました(川柳ひろば管理人・選。柳名略)

- ・飼ひ猫にメイクしたら化け猫に
- ・上手だな頭の中で歌うとき
- ・泊まれないホテルロビーで記念写真
- ・老人も座らせてもらう優先席
- ・不自由に自由の女神泣いている
- ・議論避け機が熟したと多数決
- ・サンタさんあなたはどこから出てきたの?
- ・厚顔と強弁だらけで陽が沈む
- ・GPSカーナビ持って「家(うち)はどこ?」
- ・五人もの公人つける一私人

作品は随時募集しています。毎号ではなく、一定数の投句者・川柳がそろった時点で入選句を発表します。お知り合いの方に投句をお勧めください。

支援者一覧

支援者一覧(2017年2月1日~5月31日)

安藤淑子/安部春子/青木孝士/池田賢治/池田哲也/石澤とし子/石原京子/伊東園子/井上新/今井早苗/ウエスト東京ユニオン・チャーチ/大塚真佐子/大嶺裕司・可代・十六夜/柿沢純江/金子佐年/神谷智子/亀川法律事務所/北原則子/金銀淑/京谷信代/工藤達晃/小泉小枝/小島拓人/古庄理世/小松由美/佐々木純子/佐々木裕子/佐藤たか子/佐野友美/杉浦りえ/鈴木辰典/聖望学園/高橋悠美子/高橋要子/田中淑子/田中正子/田山かほる/中村孝子/中山純郎/西千恵/西垣親子/西立野園子/芳賀美江/原口恵子/東貴也/平間多喜子/廣幸朝子/古川博子/松嶋俊介/南節子/牟田青子/森保宏/森涼子/森田雅子/八坂由貴子/安みぎわ/山県順子/山田美英子/山本了/若原奇美子

以上、順不同・敬称略。ご支援ありがとうございます。匿名をご希望の場合は、ご送金の際にお知らせください。

JELAはこの8月下旬に、リラ・プレカリア(祈りのたて琴)研修講座・第7期生の募集を開始します。研修期間は2018年4月~2020年3月の2年間。詳細は、JELAホームページで告知いたします。

募集要項・申込書類は郵送もいたしますので、ご希望の方は、電話・FAX・ハガキなどで以下にご請求ください。必ず件名に「リラ・プレカリア募集要項希望」と明記していただきますよう、お願いいたします。

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-26 日本福音ルーテル社団(JELA)

リラ・プレカリア 第7期生募集 係

(担当:奈良部)

電話 (03) 3447-1521

FAX (03) 3447-1523

Eメール jela@jela.or.jp

■研修期間

2018年4月~2020年3月(プログラム内容により期間が短縮される場合がございます。)

■応募資格

・研修講座期間中に学びに専心できる方

ホームページからクレジットカードでご寄付いただけます

JELAはクレジットカード決済システムを導入しています。MasterカードまたはVisaカードが利用可能です。JELAのホームページから簡単に手続きできますので、ご利用ください。以下の活動は皆さまざまのご寄付で成り立っています。

難民支援 / 世界の子ども支援 / ボランティア派遣 / リラ・プレカリア(祈りのたて琴)研修講座 / 奨学金制度 / 宣教師支援 どうぞよろしく願いいたします。

JELAの活動にご支援を!
各種献金のご送金は下記をご利用ください。



ホームページから寄付ができます!

・自宅でのハーブ練習が可能な方
※年齢・性別・宗教による制限はありません。

■費用(一部は目安)

・入学金10万円(開講時に申し受けます)

・受講料 18万円×5学期(合計90万円)

*学期進級毎に頂戴します。

総合計 100万円(2年間)

その他、自宅練習用のハーブ(34弦以上のレバーハーブ)をお持ちでない方は、ハーブ購入費(50万円前後)が別途必要となります。

※ご記入いただきます個人情報、日本福音ルーテル社団からの案内にのみ使用いたします。ご本人の同意を得ることなく、第三者に開示することはありません。

編集余話

週末は行きつけのそば屋でのランチを楽しみにしている。その店で落語会をやると聞き、招待客の末席に加えてもらった。演者は地元在住の噺家・瀧川鯉人(たきがわ・こいん。「おもてなし」のクリステルは他人とのこと)。二ツ目ながら、「時そば」などのネタが客席とのかけあいで大いに盛り上がる。落語の後は料理と酒に舌鼓を打ち、演者と客どうして話が弾んだ。嬉しいひとときを提供して下さった店主夫妻に感謝を捧げたい。ところで、イエスの福音を語る「ゴスペル落語会」という催しをご存知だろうか。高座名が「福音亭パスタ」という牧師もいるようだ(注:英語で牧師のことを「バスター」という)。JELAがこの「ゴスペル落語会」をチャリティイベントとして開いたら、みなさん来てくださいます?(M)



Japan Evangelical Lutheran Association

一般社団法人日本福音ルーテル社団

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-26

Tel.03-3447-1521 Fax.03-3447-1523

Email: jela@jela.or.jp

HP: http://www.jela.or.jp

郵便振替口座番号: 00140-0-669206

加入者名: 一般社団法人日本福音ルーテル社団